

平成 21 年 2 月 9 日

各 位

会 社 名 東 洋 合 成 工 業 株 式 会 社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 木 村 正 輝
 (J A S D A Q コード番号 4970)
 問 い 合 わ せ 先 専 務 取 締 役 春 田 雅 彦
 電 話 番 号 0 4 7 - 3 2 7 - 8 0 8 0 (代 表)

特別利益、特別損失の発生および平成 21 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 20 年 5 月 12 日付「平成 21 年 3 月期 決算短信 (非連結)」にて公表いたしました平成 21 年 3 月期 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日) 通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期通期業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	15,050	400	200	300
今 回 修 正 予 想 (B)	12,500	△500	△700	△750
増 減 額 (B - A)	△2,550	△900	△900	△1,050
増 減 率 (%)	△16.9	—	—	—
前 期 実 績 (平 成 20 年 3 月 期)	15,002	474	299	159

2. 修正の理由

経済環境は、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融危機の発生以降、想定を上回る速度で悪化を続けております。

売上高は、当第 3 四半期 10 月から液晶パネルおよび半導体の在庫調整が始まり、第 4 四半期以降、生産調整が一段と進んでおります。この影響に伴う感光性材料需要の落ち込みにより、主力の感光性材料事業は、前回予想時点では下半期を前年並みと見込んでおりましたが、第 3 四半期の売上高が前年同期比 48.4%の減少となり、第 4 四半期においても減少する見通しとなったことから、売上高につきましては当初計画を下回る見込みであります。

営業利益および経常利益は、売上高の減少に対し、経費削減などに努めておりますが、生産量減少による稼働率の低下などにより当初計画を下回る見込みであります。

当期純利益は、千葉工場火災事故の受取保険金による特別利益が発生するものの、経常利益の減少および同電気室火災事故に伴う損害額などの特別損失の影響により、当初計画を下回る見込みであります。

3. 火災事故に伴う特別利益および特別損失について

(1) 特別利益について

滅失した資産並びに復旧費用に対しては火災保険（新価保険）が付されており、平成 21 年 3 月期までに確定可能な保険金額は 260 百万円程度を見込んでおります。

(2) 特別損失について

稼働停止中設備の減価償却費など、135 百万円程度を見込んでおります。

4. 役員報酬の減額等

通期業績予想の修正を厳粛に受け止め、経営責任を明確化するため、以下のとおり取締役および執行役員の月額報酬の減額を実施いたします。また、監査役より監査役報酬の自主返上の申し入れがありましたので、併せてお知らせいたします。

(1) 取締役報酬減額の内容

- ・取締役および執行役員は役位に応じ、月額報酬額の 10%～20%の幅で減額いたします。

(2) 監査役報酬自主返上の内容

- ・監査役は月額報酬額の 5%を自主返上いたします。

(3) 対象期間

- ・平成 21 年 2 月～3 月（2 ヶ月間）

※4 月以降における取締役報酬の取り扱いにつきましては、3 月の取締役会にて、業績に照らし決定いたします。

当社経営陣一同、事業体質の強化および業績向上のための諸施策断行に努めて参りますので、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上